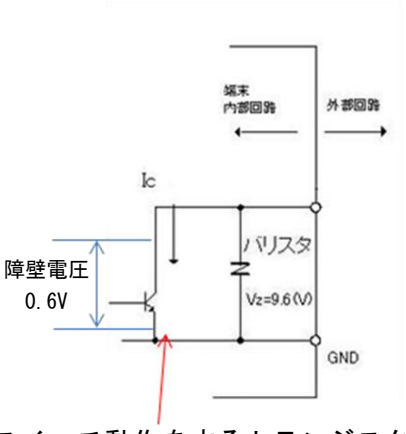
ALLwatch Tips

2011年6月号
オムロンソフトウェア株式会社

「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

「オープンコレクタについて」

オムロン製のデマンド監視機器（SW150PF/SW150PFK）では4点の出力が準備されています。この出力はオープンコレクタ出力です。時々この出力の接続を間違い機器を破損される方が見られますので使い方の注意点を記します。



スイッチ動作をするトランジスタ

Ⅰ．オープンコレクタとは

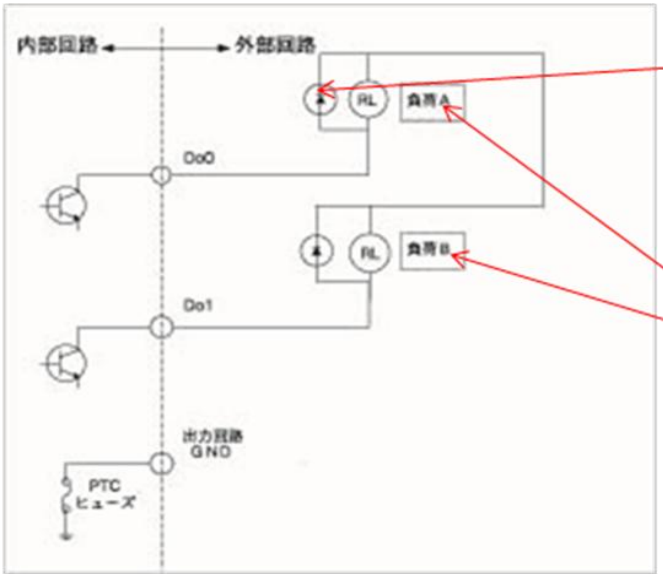
左図のように、トランジスタのコレクタ端子に何も接続されていないのでオープンコレクタと言います。

Ⅱ．接点入力との違い

（１） リレーではスイッチの接点が金属なので接触抵抗が低く残留電圧はほとんど出ません。
（２） オープンコレクタではスイッチ素子が半導体です、従ってON状態でも0.6V程度の残留電圧があります。

Ⅲ．実際の配線

（１） 出力端子(Do0～Do3)には負荷になるリレー、ランプ、ブザー等を接続して下さい。
（２） 電源は負荷と接地(GND)の間に接続して下さい。
（３） 電源を出力端子(Do0～Do3)に直接接続しないでください、そのまま使用すると出力回路が破損される恐れがあります。



サージ防止ダイオード(リレー等の誘導性負荷の場合は必ず挿入してください)

リレー、ブザーランプ等

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。

０１２０－０５３―６０６（土・日・祝日を除く 9:30～17:30（12:15～13：00を除く））